

令和4年度 北海道函館聾学校グランドデザイン

| | | |
|---|---|---|
| 目指す学校像 <ul style="list-style-type: none"> 子どもに慕われる学校 保護者に信頼される学校 地域社会に開かれた学校 教師が誇りをもって指導できる学校 | 目指す子ども像（校訓） <ul style="list-style-type: none"> 広い心で 助け合う子ども よく考えて 学ぶ子ども 元気で たくましい子ども | 目指す教師像 <ul style="list-style-type: none"> 幼児児童生徒の気持ちを大切にし、寄り添える教師 専門性や指導力の向上のため、学び続ける教師 互いに支え合い、組織的・計画的に業務を推進する教師 豊かな人間性と誠実さ、向上心を持ち、信頼される教師 |
|---|---|---|

| |
|---|
| 学校教育目標 <ul style="list-style-type: none"> すすんで知識・技能を磨き、課題を解決する子どもを育てる。（知識・技能） よく考え、判断し、適切に表現する子どもを育てる。（思考力・判断力・表現力） すすんで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもを育てる。（学びに向かう力・人間性等） |
|---|

| | | |
|--|--|---|
| 幼児児童生徒の実態 <ul style="list-style-type: none"> 異年齢集団の日常的な交流により、思いやりの心が育っている、真面目かつ素直に学習活動に向かう子どもが多い。 言語受容力が育っているが、自己の思いなどの表出に課題 家庭学習習慣の定着に課題 | 本年度の重点 <ul style="list-style-type: none"> 適切な実態把握と聴覚障がい特性を踏まえた教科指導力・生徒指導力の向上 教育的効果を図ったICT活用による授業実践の充実 教職員の指導技術と専門性の向上を図る研修の充実 安全・安心な環境づくりと教育の充実 地域や関係機関との連携強化及びろう・難聴者とのかかわり 効率的な働き方の推進と質の高い教育活動の実現 | 昨年度の課題 <ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式の中における新学習指導要領に対応した学習活動 子どもたちの課題に応じた生徒指導 感染症対策と社会に開かれた教育課程の実現の両立 |
|--|--|---|

| 学部の重点目標：育成を目指す資質・能力（何ができるようにするか） | | | |
|----------------------------------|--|--|---|
| 各学部 | すすんで知識・技能を磨き、課題を解決する子どもを育てる。 (知識・技能) | よく考え判断し適切に表現する子どもを育てる。 (思考力・判断力・表現力) | すすんで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもを育てる。 (学びに向かう力・人間性等) |
| 乳幼児相談室 | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものや自然、玩具や本を見たり触れたりして遊び、興味・関心を広げる。 身近な音楽やリズムを楽しみ、自由に身体を動かす。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、身近な人たちの会話に触れ、幾つかの言葉が分かる。 身近な大人と声や身振りなどを使ったやりとりを通して、声や幾つかの言葉を楽しんで使い始める。 | <ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、身近な人たちにあやしてもらったり、遊んでもらったりする。 表情や眼差し、触れ合いで、身近な大人との共感的理解を高める。 |
| 幼稚園部 | <ul style="list-style-type: none"> 経験や興味・関心の幅を広げるとともに、コミュニケーションの基礎的な力を育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 好奇心や探究心を大切にするとともに、豊かな感性や表現する力を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な人や自然とのかかわりを大切に、豊かな心情や道徳性の芽生えを培う。 |
| 小学部 | <ul style="list-style-type: none"> 学んだことをつなげて考えたり他の場面で活用したりすることができる子どもを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の力で考え、他者に配慮しながら伝え合うことができる子どもを育てる。 | <ul style="list-style-type: none"> 将来の社会参加に向けて自ら考え取り組むことができる子どもを育てる。 |
| 中学部 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に合わせた計画を立て、取組の中で主体的に課題を解決できるように努める。 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じたコミュニケーション手段を用い、言語力の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科間のつながりを意識した指導を計画し、横断的・総合的な学習活動の充実を図る。 |

| 資質・能力の育成に向けた具体的な取組（何を学ぶか・どのように学ぶか） | | | |
|------------------------------------|--|--|---|
| 各学部 | すすんで知識・技能を磨き、課題を解決する子どもを育てる。 (知識・技能) | よく考え判断し適切に表現する子どもを育てる。 (思考力・判断力・表現力) | すすんで学び、たくましく生きる、心豊かな子どもを育てる。 (学びに向かう力・人間性等) |
| 乳幼児相談室 | <ul style="list-style-type: none"> 聞こえの状態、個々の発達段階に合わせた、活動や教材を提供する。 運動・感覚機能への働き掛けを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 教材や活動内容について、興味・関心を活かすとともに、個々の状態に合わせて柔軟に提供する。 個々の聞こえや、発声、教材の程度に合わせて、視覚的な教材の種類や量などを調整する。 保護者のニーズに合わせ、保護者と協働する。 | <ul style="list-style-type: none"> 身近な大人とのアイコンタクトなどの共感的理解を広げる環境や活動を提供する。 安心して、活動に集中したり、数名の大人や子どもと同じエリアで過ごせたりできるような環境や活動を提供する。 |
| 幼稚園部 | <ul style="list-style-type: none"> 安心して活動に取り組める環境づくりと保護者との連携に努める。 子どもの実態や年齢に応じて活動を改善し、計画的に展開する。 指導に視覚的教材を効果的に用いる。 | <ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって行動できるような配慮をする。 子どもが自分の気付きや考えを取り入れられるように、活動を工夫をする。 表現活動や絵本の読み聞かせなどの充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 成功体験を積み重ねていくことができるような指導の工夫に努める。 散歩や交流保育などを通して、身近な人や自然とのかかわりの場を広げる。 |
| 小学部 | <ul style="list-style-type: none"> 主観的・客観的・共感的な実態把握を基に適切な課題設定を行う。 子どもの興味や関心を引き出し、分かる授業を展開する。 | <ul style="list-style-type: none"> 集団での活動や話し合いの場を多く設け、言語活動を活発にする。 ICTを活用した学習活動の充実を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 成功体験を積み重ねていくことができるような指導の工夫に努める。 地域等の人的・物的資源を活用したりろう・難聴者とかかわる活動を取り入れたりする。 |
| 中学部 | <ul style="list-style-type: none"> 安心して学習に取り組める環境づくりに努める。 生徒の指導目標を明確にして授業を行い、必要に応じて指導内容の精選や改善を図る。 タブレット等の機器を有効に活用し、指導の効果を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> 状況に応じた話し方や態度を身に付けさせる。 経験したことや伝えたいことを文章にまとめ、相手に伝える力を身に付けさせる。 聴覚口話法のみならず、指文字、手話、文字等を併用しながらかかわるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組めるよう見通しを持たせたり、学習の振り返りを行うなど、わかる授業を展開するように努める。 成功体験を積み重ねていく指導を心掛け、生徒の学習意欲の向上を図るようにする。 ICT教育を活用し、生徒の学習への興味・関心を高め、学びに向かう力を身に付けさせる。 |
| 評価指標 | 学校評価1-(1) | 3. 8 | 学校評価1-(2) 3. 7 |

| |
|--|
| 指導体制の充実（実施するために何が必要か） <ul style="list-style-type: none"> 他校との交流学習（ICT活用） 外部人材及び地域資源の活用 |
|--|

| |
|---|
| 家庭・地域との連携・協働（実施するために何が必要か） <ul style="list-style-type: none"> 家庭との連携・協働 学校評議員会の活用 |
|---|